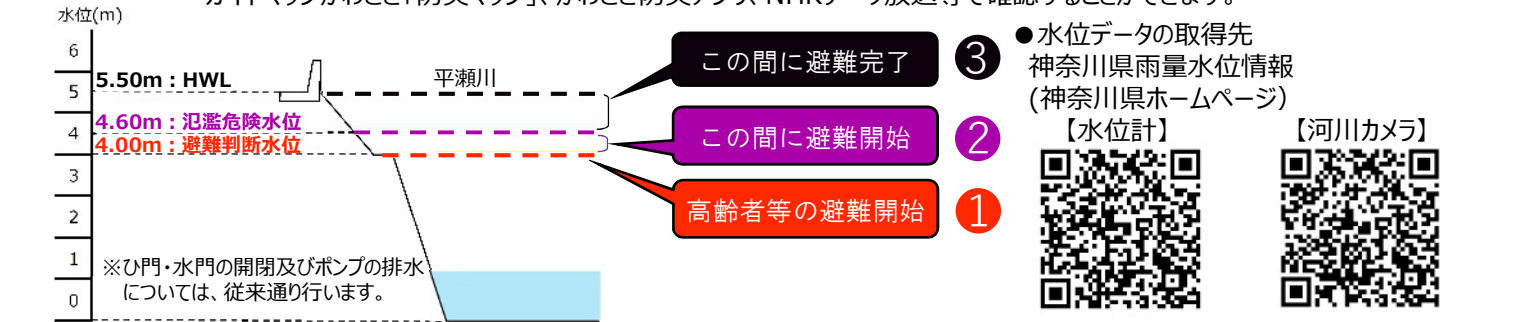


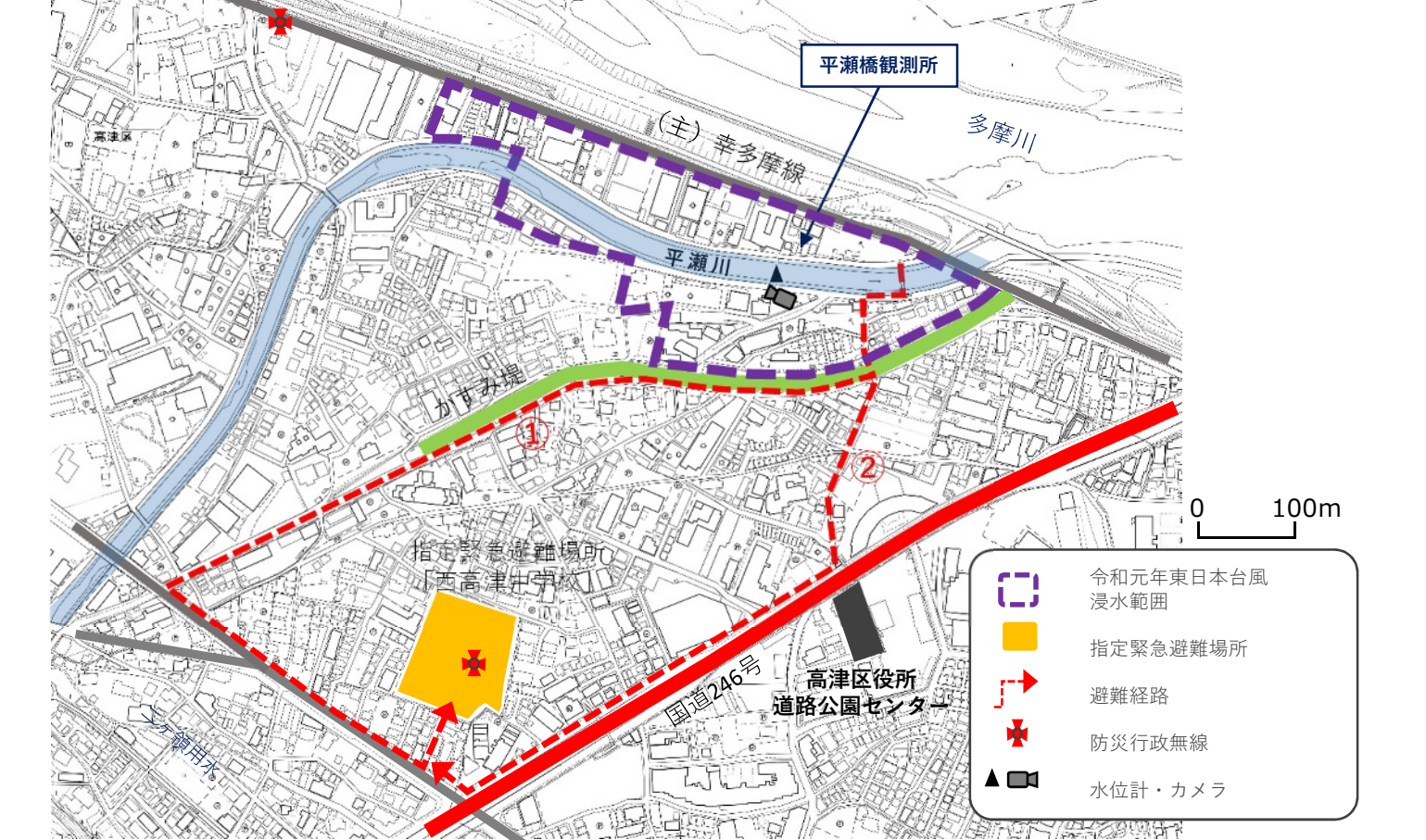
●避難の目安  
※「判断の目安の水位」の設定方法については、裏面の解説「3. 発信する情報」をご確認ください。

| 【判断の目安の水位】<br>(水位：平瀬橋観測所)                     | 【発信する情報】(※1) | 【警戒レベル】 | 【住民がとるべき行動】                                                                                           |
|-----------------------------------------------|--------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 水位 4.60m<br>【氾濫危険水位】<br>～5.50m<br>【計画高水位:HWL】 | 避難指示         | レベル4    | ③ この間に避難完了<br>・避難中の住民は、確実な避難を直ちに完了<br>・避難行動に余裕がない場合は、屋内の安全な場所等に退避するなど、生命を守る最低限の行動を完了                  |
| 水位 4.00m<br>【避難判断水位】<br>～4.60m<br>【氾濫危険水位】    |              |         | ② この間に避難開始<br>・指定緊急避難場所等(※2)の安全な場所への立ち退き避難開始<br>・屋内の安全な場所への避難開始                                       |
| 水位 4.00m<br>【避難判断水位】                          | 高齢者等避難       | レベル3    | ① 高齢者等の避難開始<br>・高齢者等の避難行動に時間がかかる方は、避難行動を開始<br>・高齢者等の方が避難の際は、近隣の方々と声をかけあい協力しながら避難<br>・それ以外の住民は、避難準備を開始 |

※1 避難指示等の発令は、防災行政無線や広報車両による広報等により伝達されます。  
河川の水位が上記水位に達していなくても避難指示等が発令される場合がありますので、早めの避難行動を心掛けてください。  
※2 開設中の指定緊急避難場所は、防災情報ポータルサイト、市ホームページ緊急情報、メールニュースかわさき「防災気象情報」、ガイドマップかわさき「防災マップ」、かわさき防災アプリ、NHKデータ放送等で確認することができます。



●平瀬川最下流部における指定緊急避難場所



# 台風や大雨に備えて



台風や大雨などの風水害は、天気予報などで事前に情報を得て、早めの行動ができる災害です。  
大切な命を守るために、できることから始めてみませんか。

## 1 災害リスクを確認する

ハザードマップは、洪水による浸水や崖崩れなどの災害が起きる可能性がある場所を示した地図です。  
自宅が安全が確保できるときは、自宅に留まることも避難の方法です。  
まずは、ハザードマップで自宅のリスクを確認しておきましょう。



## 2 避難先や、避難行動を事前に考えておく

台風予報などの情報を知ってから、災害が来るまでの時間をうまく活用することが大切です。  
いつ、どこに、どうやって避難するかを事前に考えて、いざという時に備えましょう。  
詳細については、「備える。かわさき」をご覧ください。

- ・屋内待機（自宅待機）
- ・立ち退き避難
- ・垂直避難



※ハザードマップや「備える。かわさき」・「号外！備える。かわさき」は、市危機管理室や各区危機管理担当の窓口で配布しています。

## 3 情報の入手先の確認

情報の入手先について、日頃から確認をすることが大切です。

- ・川崎市ホームページ／川崎市防災気象情報  
河川の水位情報のほか、気象レーダーやピンポイント天気予報、降水短時間予測などの情報をホームページで公開しています。
- ・メールニュースかわさき  
登録したメールアドレスに川崎市の防災、気象、災害の情報を配信します。  
配信を希望する方は、下記アドレスまで空メールを送信してください。  
(パソコン・スマートフォンから [mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp](mailto:mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp))
- ・防災テレホンサービス  
防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます。  
◇県内の一般加入電話、公衆電話及び一部IP電話 0120-910-174（通話料なし）  
◇携帯電話、PHS、県外の一般加入電話・公衆電話 044-245-8870（通話料あり）



川崎市防災気象情報



メールニュースかわさき

## 災害時の連絡先

- 避難等に関すること・・・高津区役所危機管理担当 Tel 044-861-3147
- 道路、水路、河川に関すること・・・高津区役所道路公園センター Tel 044-833-1221
- 救助が必要なときは・・・高津消防署 Tel 044-811-0119



# 平瀬川最下流部における避難行動のタイムライン（洪水）解説

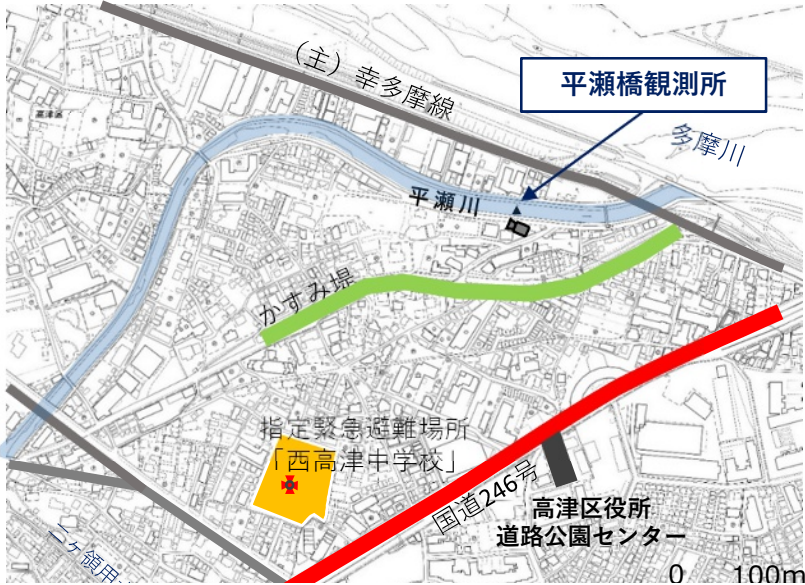
## 1. 平瀬川最下流部への避難情報の発信

平瀬川の最下流部にお住まいの皆様に、平瀬川の水位に着目した避難に関する情報発信を行います。避難に関する情報を受けたら、適切な避難行動を取れるようにしましょう。

※既に多摩川の水位で避難指示等が発令されている場合は、平瀬川最下流部への避難に関する情報を待たず、適切な避難行動を取るようにしましょう。

## 2. 平瀬川最下流部の水位計・カメラ

平瀬川最下流部では、平瀬橋に水位計及び河川監視カメラが設置されています。台風等の大雨で平瀬川の水位が上昇すると、浸水被害が発生する可能性があるため、水位計や河川監視カメラで、平瀬川の水位の状況に注意しましょう。



●水位データの取得先  
神奈川県雨量水位情報  
(神奈川県ホームページ)

【水位計】

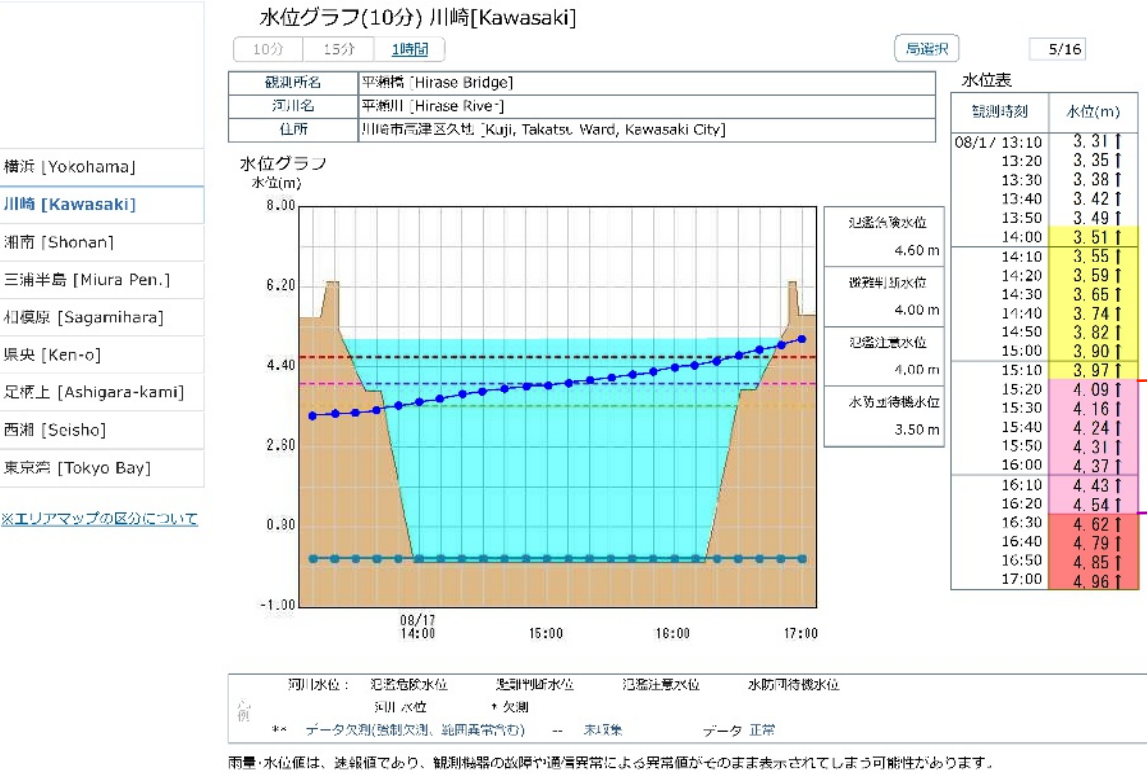


【河川カメラ】



※神奈川県ホームページ（水位）

観測時刻 2020/08/17 17:00



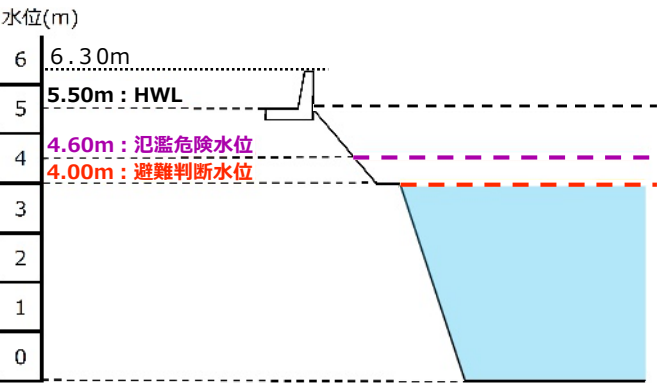
## 3. 発信する情報

平瀬川の水位に応じて、様々な手段で避難に関する情報を発信します。

※必要な時間（目安）は、令和元年東日本台風時における1時間あたりの最大水位上昇量による想定であり、発生する事象によって異なります。

### ①避難判断水位

平瀬川の水位が避難判断水位（4.00m）に達したら、高齢者等の避難を開始していただくための情報を発信します。  
令和元年東日本台風時の平瀬川の最大水位上昇量（0.68m/h）で計算すると、約50分で避難の準備などを行う必要があります。



情報の入手方法

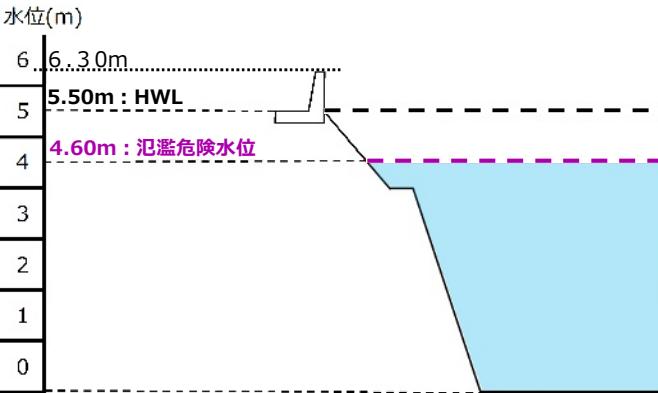
- ・HPの水位計及びカメラで状況確認
- ・メールニュースかわさき受信
- ・広報車等による広報
- ・防災行政無線

住民が取るべき行動

- ・高齢者等の避難に時間がかかる人は避難開始
- ・その他の人は、避難準備（家財・車などの避難）

### ②氾濫危険水位

平瀬川の水位が4.00m～4.60mの間に、避難を開始していただくための情報を発信します。  
令和元年東日本台風時の平瀬川の最大水位上昇量（0.68m/h）で計算すると、約80分で避難を行う必要があります。



情報の入手方法

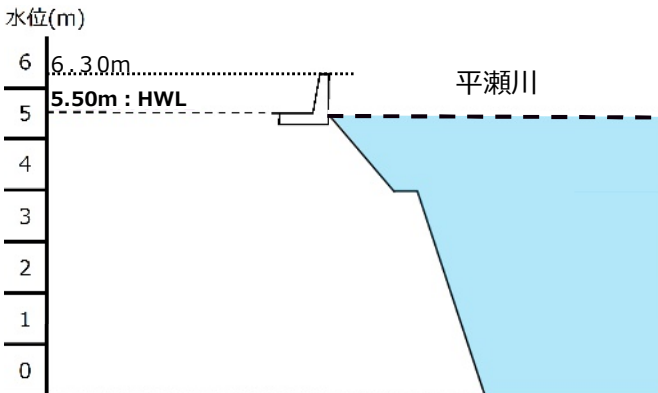
- ・HPの水位計及びカメラで状況確認
- ・メールニュースかわさき受信
- ・広報車等による広報
- ・防災行政無線

住民が取るべき行動

- ・避難開始

### ③計画高水位（H.W.L.）

平瀬川の水位が5.50mに達すると、浸水被害が発生する可能性が非常に高くなります。  
この水位までには避難を完了し、万が一まだ避難されていない方は建物の上階等に退避し、生命を守る行動を取る必要があります。



情報の入手方法

- ・HPの水位計及びカメラで状況確認
- ・メールニュースかわさき受信
- ・広報車等による広報
- ・防災行政無線

住民が取るべき行動

- ・避難完了